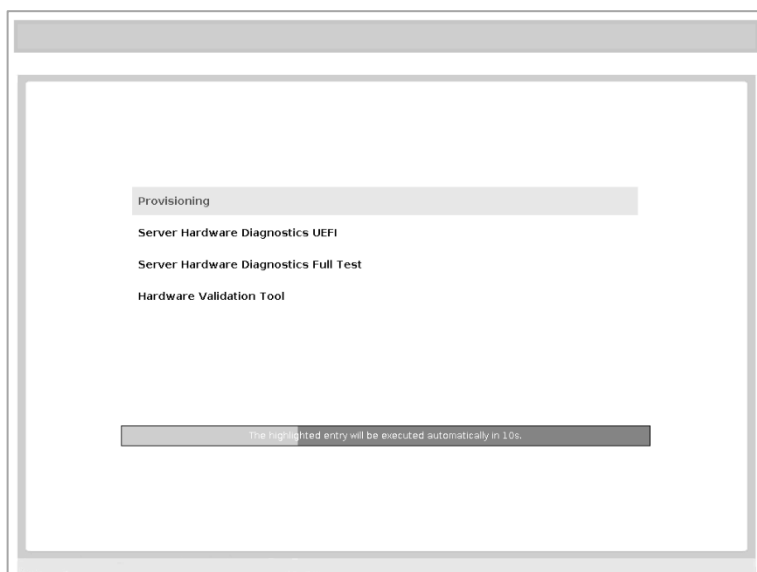


メンテナンスガイド補足

1. EXPRESSBUILDER の起動

1. 本機の電源をオンにするか、または<Ctrl>+<Alt>+<Delete>キーを押して再起動させます。
2. POST 画面で<F10>キーを押します。
次のメニューが表示されます。



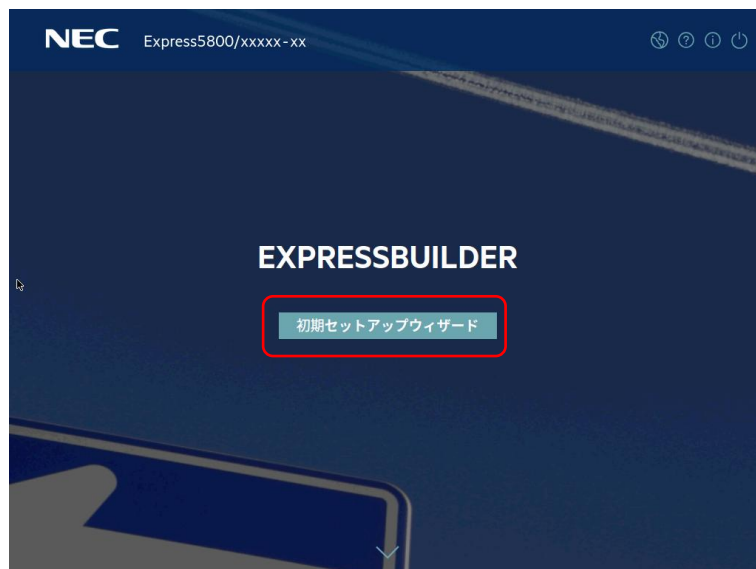
3. メニューから「Provisioning」を選択します。
4. 次の画面が表示された場合、iLO アカウント情報(ユーザー名、パスワード)を入力します。

ユーザー名を入力して<Enter>キーを押した後、パスワードを入力して<Enter>キーを押します。
デフォルトのユーザー名、パスワードは、本機に取り付けられているスライドタグを参照してください。

```
Please enter ILO credentials
Username:
Password: _
```

5. 初回起動時は、EXPRESSBUILDER の動作環境を設定します。

5-(1) 「初期セットアップウィザード」 をクリックします。



5-(2) 次の設定を使用環境に合わせて設定し、次へ進みます。 そのほかの設定は変更しません。

- インターフェイス言語（デフォルトが英語表記のときは、「Interface Language」）
- キーボード言語



5-(3) 「ソフトウェアのご使用条件」を読み、チェックボックスをチェックした後、次へ進みます。



5-(4) 以下の画面では、設定を変更せずに次へ進みます。



5-(5) 以下の画面では、設定を変更せずに次へ進みます。

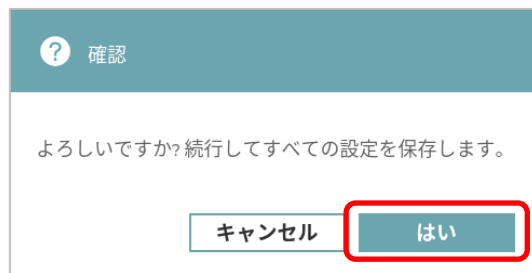


5-(6) 以下の画面では、設定を変更せずに「送信」をクリックします。

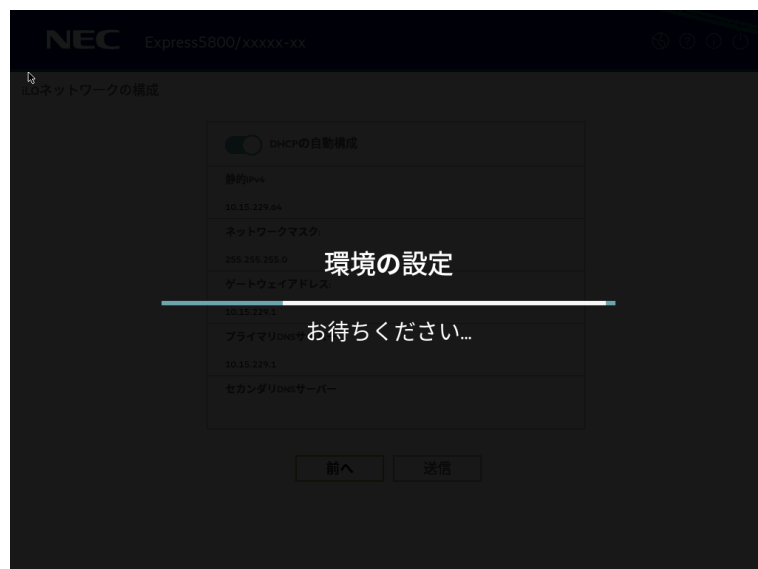
ここでは、iLO の現在の設定が表示されるため、画面の表示は環境によって異なります。



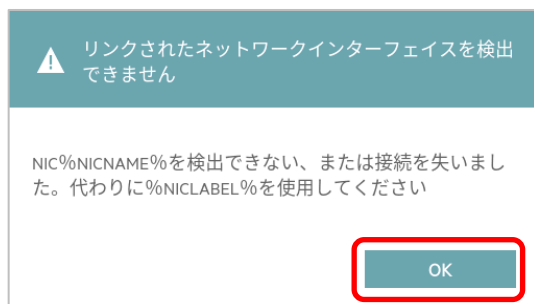
5-(7) 以下の画面では、「はい」を選択して、設定を保存します。



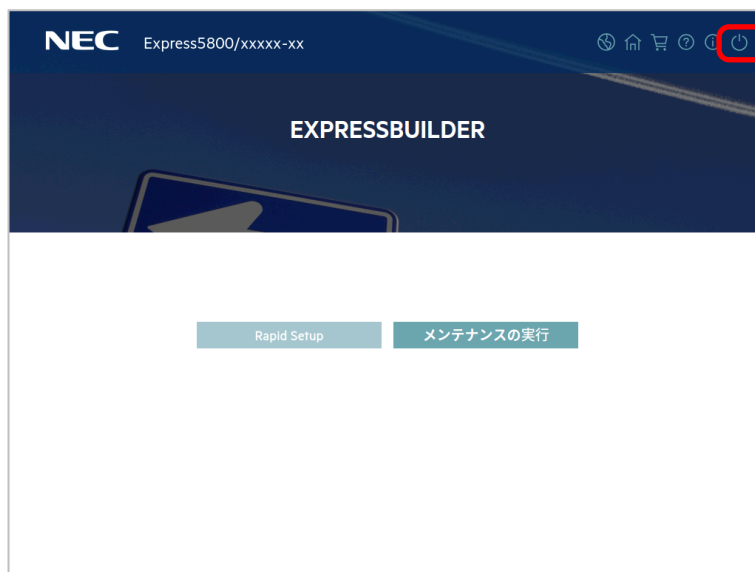
画面に従い、お待ちください。



5-(8) 以下のメッセージが表示されたときは、「OK」をクリックして、次の画面に進みます。

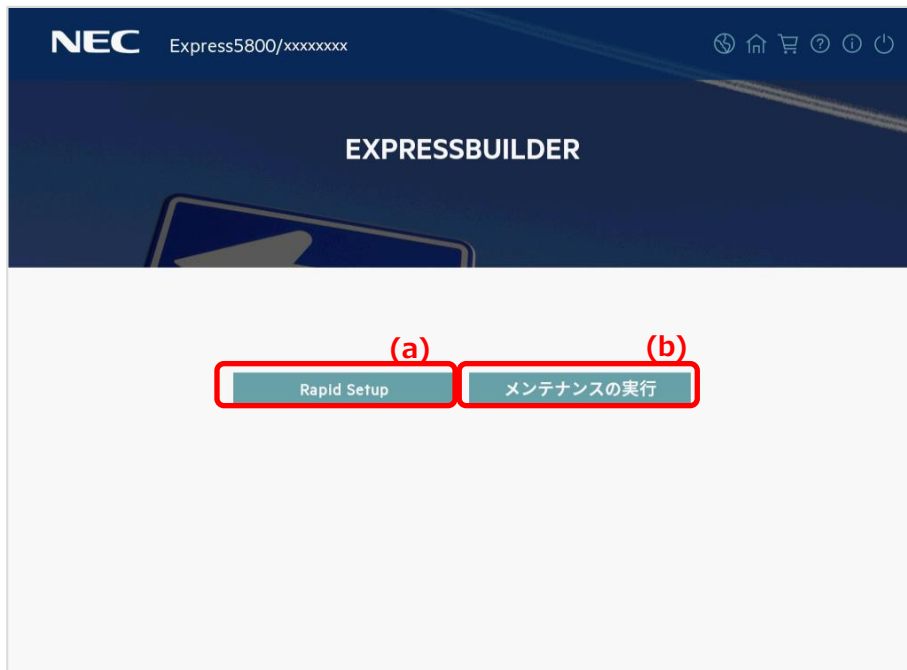


5-(9) 右上の電源アイコンをクリックして、サーバーを再起動させてください。



2. EXPRESSBUILDER のメニュー

EXPRESSBUILDER は、画面上のメニューから操作します。



(a) Rapid Setup

OS のインストールを実施します。詳細は、「インストレーションガイド(Windows 編)」を参照してください。本機能を使うと、インストール先ディスクのパーティションをクリアし、全データを削除してからセットアップを進めます。

(b) メンテナンスの実行

保守用のツールを個別に起動します。

EXPRESSBUILDER 環境設定

「1. EXPRESSBUILDER の起動」の手順 5 で設定した環境を再設定できます。

展開設定

サーバーのインストール設定を多数台へ展開することができます。

3. トラブルシューティング

[?] EXPRESSBUILDER の操作中に以下のメッセージが表示された

- EXPRESSBUILDER の動作に影響はありません。
「OK」をクリックして、操作を続けてください。

